

スポーツ

かわさき

No. 36

— 目 次 —

- 平成6年度事業計画・収支予算決まる ②
- 第45回県総合体育大会日程 ⑤
- 健康・スポーツ都市川崎をめざして ⑥
- 国体準備室だより ⑦
- スポーツ心理学講座〔Ⅲ〕 ⑧
- 秋季市民大会結果 ⑩
- スポーツ医学講座開かる ⑪
- 賛助会員提携店 賛助会員募集 ⑫

財団法人 川崎市体育協会

スポーツ文化の香り高い、 躍動する地域社会の建設に向けて

平成6年度体育協会事業計画・収支予算決まる

1 はじめに

平成6年3月29日、川崎市教育文化会館において平成5年度の体育協会理事会・評議員会が開催されました。

まず、評議員会では冒頭、高雲会長から「スポーツ文化の香り高い、元気に躍動する地域社会の建設に向けて、一丸となって取り組んでまいりたい」との挨拶があり、その後、平成6年度の事業計画案や収支予算案等の議案について審議し、原案通り理事会に上げることが承認されました。

引き続き理事会が行われ、評議員会から上げられた平成6年度事業計画案及び収支予算案等の議案について審議し、全員一致で後述の通り可決されました。

2 高雲会長挨拶（要旨）

「体育協会も平成4年7月に法人格を得てから早くも2年を経過しようとしています。この間、理事・評議員・専門委員をはじめ、加盟各団体の皆様のご協力により公益法人として相応しい活動ができる組織基盤を整備することができたと思います。

平成6年度は、この強固な基盤に立って体育協会の目的である市民スポーツ・生涯スポーツの普及振興と競技力向上を目指し、積極的な事業の拡大充実を図り、スポーツ文化の香り高い、元気に躍動する地域社会の建設に、体育協会一丸となって取り組みたいと存じます。

日本の経済は、戦後最悪と言われる不況から脱却できず、体育協会の財政にも多大な影響が生じていますが、限られた財源を有効に活用し、生涯スポーツ普及のためのスポーツ教室の増設、第53回国民体育大会に向けての競技力向上事業の充実・拡大等を折り込んだ事業計画案と収支予算案をご提案することになりましたので、是非皆様方の知恵と工夫をお借りし、より良い年度計画を策定してまいりたいと存じます。

最後になりましたが、厳しい財政事情の中から



挨拶する高雲会長

川崎市民スポーツの普及・振興のために体育協会へのご理解・ご支援を賜りました市長、教育長はじめ関係各機関の皆様には深く敬意を表するとともに、体育協会一丸となってそのご期待に沿うよう努力してまいることをお約束し、開会のご挨拶とさせていただきます。」

3 主な事業計画

(1)市民スポーツ・生涯スポーツの普及・振興事業

平成6年度は、新たにスケート協会、ボウリング協会、なぎなた連盟及びソフトバレーボール連盟の4団体のスポーツ教室が増設され、これにより平成5年度の8教室から12教室へと事業が拡大され、より一層充実した市民スポーツ・生涯スポーツの普及・振興が推進されることとなります。

- ①川崎市民スケート教室 年3回
- ②ジュニアボウリング教室 年3回
- ③初心者なぎなた教室 年1回全10回
- ④ソフトバレーボール技術教室 年1回

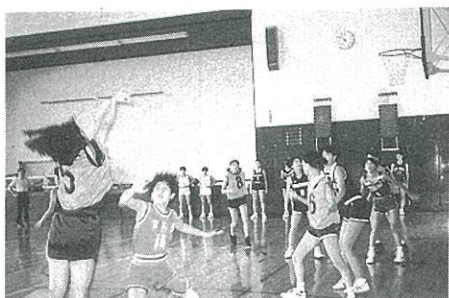


(2)競技力向上事業



平成5年度選手強化育成事業 (ハンドボール)

平成10年の神奈川国体に向けた競技スポーツの振興と競技力の向上を図るため開催されている選手強化育成事業は、平成5年度は一般選手・ジュニア選手強化事業として、野球・バスケットボール・卓球・ハンドボール・ボウリングの5種目が、また、ジュニア選手育成事業として、陸上競技・バレーボール・

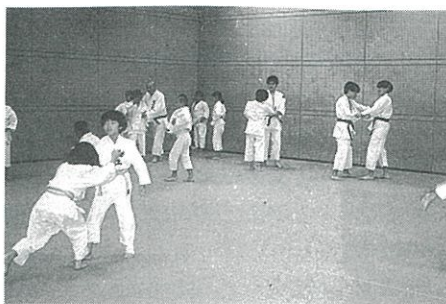


平成5年度選手強化育成事業 (バスケットボール)

ソフトテニス・柔道・弓道・相撲・水泳・ラグビーフットボール・サッカー・少林寺拳法の10種目が実施され、各々一定の成果が挙げられつつあります。



平成5年度選手強化育成事業 (水泳)



平成5年度選手強化育成事業 (柔道)

平成6年度は、指導者育成事業が充実強化されるとともに、重点強化種目として8団体(野球、バスケットボール、卓球、ハンドボール、ボウリング、テニス、バレーボール、



平成5年度選手強化育成事業 (少林寺拳法)

サッカー)が、また強化種目として10団体(陸上競技、柔道、弓道、水泳、ラグビーフットボール、少林寺拳法、ソフトボール、なぎなた、ソフトテニス、相撲)が各々競技スポーツの振興と競技力の向上に向けて事業を展開することになりました。



平成5年度選手強化育成事業 (陸上競技)

(3) 70周年冠事業

今年、川崎市は市制70周年を迎え「市制70周年記念事業」として7月2日(土)にヴェルディ川崎を招いて川崎サッカーフェスティバルが、11月20日(日)には国内一流選手や友好都市市民ランナーを招待しての市民マラソン大会が開催されます。

一方、これまで行われてきました市制記念大会も、平成6年度は市制70周年記念大会として次のとおり開催されます。

種 目	開催日	会 場
陸 上 競 技	6/18,19	等々力陸上競技場
野 球	6/	大 師 球 場
バレーボール	6～7月	市立川高体育館他
バスケットボール	5～7月	川崎市体育館他
バドミントン	9/5	川崎市体育館
卓 球	7/25	川崎市体育館
テ ニ ス	6～9月	富士見庭球場他
ソフトテニス	7/	富士見庭球場
柔 道	6/	川崎市体育館
剣 道	7/	川崎市体育館
弓 道	7/	富士見弓道場
相 撲	7/	富士見相撲場
水 泳	8/	N K K プール
なぎなた	9/上	石川記念武道館
クレー射撃	8/下	伊勢原射撃場
ボウリング	9/下	川崎グランドボウル

(4) 収支予算

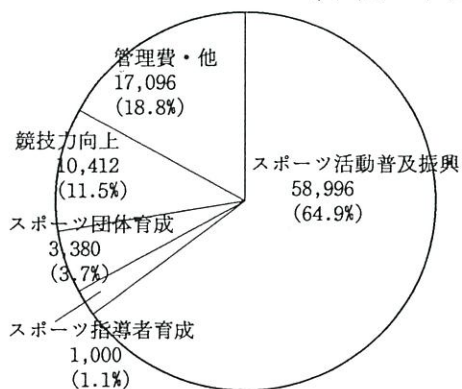
収入の部

(単位：千円)



支出の部

(単位：千円)



平成6年度は、70周年事業を受託するということから、1200万円という収入が見込まれているのが特徴です。これは、総収入額の約13%を占めるものとなっています。また、支出の部では、競技力向上事業費が約1041万円と5年度より約270万円増額され、その構成比も11%を超えるものとなっていることが大きな特徴といえます。

第45回神奈川県総合体育大会日程一覧表

	競技名	第 一 日		第 二 日	
		期 日	会 場	期 日	会 場
夏 季	ソフトボール	8月14日(日)	伊勢原鈴川公園 伊勢原一の宮公園 伊勢原球場 綾瀬市本蓼川球場	8月21日(日)	綾瀬市本蓼川球場 (第一日雨天順延の場合は第一日会場)
	ソフトテニス			8月21日(日)	川崎市富士見公園庭球場
	水 泳			8月21日(日)	県立体育センター
秋 季	陸 上			9月25日(日)	県立体育センター (一般・青年)
	バレーボール	9月18日(日)	藤沢市秋葉台文化体育館 (一般女子) 相模原総合体育館 (一般男子) 南足柄市体育館 (青年男女)		
	軟式野球	9月18日(日)	川崎市桜川球場 川崎市とんび池球場 相模原市県立球場 茅ヶ崎市営球場 横須賀市追浜球場	9月25日(日)	川崎市桜川球場 川崎市とんび池球場 横須賀市追浜球場
	サッカー	9月18日(日)	県立体育センター 藤沢市秋葉台公園球場 大清水運動公園	9月25日(日)	県立体育センター 藤沢市秋葉台公園球場
	卓 球			9月25日(日)	平塚市見附台体育館 (一般・青年)
	バスケットボール	9月18日(日) 9月15日(木)	横須賀市西部体育館 (一般) 横須賀市北部体育館 大井町総合体育館(青年) 西湘地区体育センター (青年)	9月25日(日)	横須賀市西部体育館 (一般) 大井町総合体育館(青年)
	柔 道			9月25日(日)	県立武道館(一般・青年)
	剣 道			9月25日(日)	県立武道館(一般・青年)
	弓 道			9月25日(日)	県立武道館(一般・青年)
	バドミントン	9月18日(日)	大和市スポーツセンター (一般・青年)		
クレー射撃	9月15日(木)	大井射撃場			

健康・スポーツ都市川崎をめざして

川崎市教育委員会社会教育部

スポーツ課長 永田 忠 男

4月1日づけで、体育振興課がスポーツ課となりました。

本市の体育行政窓口は昭和36年「体育保健課」にはじまり「体育課」「体育振興課」「スポーツ課」と社会の変化とともに大きな節目をきざんできています。

この間、学校体育、社会体育とかかわりをもたせていただきましたが、それぞれの課で体育協会の皆様にあたたかいご指導をいただき感謝しているところです。

また、この度貴重な紙面をいただきましたので本市のこれからのスポーツ振興策の基本となります「スポーツプラン」の概要や平成6年度の主な事業を報告させていただきます。

さて、最近市民の皆様の健康に対する関心が高まり、余暇の増大と共に、スポーツを楽しみたいという気運が日々に強まってきております。

このような社会的背景のもとに、すべての市民がスポーツに親しみ、参加する喜びを分かち合う健康スポーツ都市川崎を目指した「川崎市生涯スポーツ振興基本計画」が策定されました。

その中で、まず第一に「家族団らんとゆとりある生活」が課題としてとり上げられています。

川崎市のような大都市に住む市民にとって、今一番求められていることは、自然の中で家族がゆとりある生活を営むことであります。

大都市市民のストレスを和らげ、生涯スポーツの第一歩をふみ出すために、行政はこの課題の解決に努力しなければならないと思います。

次に、生涯スポーツの環境づくりがあげられます。街の広場では子どもたちが遊び、遊歩道ではいろいろな年齢の市民がジョギングを楽しみ、スポーツ施設では女性も男性もスポーツに汗を流しています。このように生涯スポーツはその地域のだれもが参加できるものでなければなりません。そのための環境を作り出すことが重要な課題であると考えます。

第三に市民の健康の増進があげられます。

市民が自分に合ったスポーツを生活にとり入れることによって生活そのものを活性化することができます。

さらにスポーツを楽しむことによ

って仲間の輪をひろげ、スポーツで世界をひろげることでもできるのです。

この「生涯スポーツ振興基本計画」の策定と共に、昨年までの体育振興課が「スポーツ課」に生まれ変わりました。

体育振興課が今まで築き上げてきた業務を進めると共に、新しい時代に即した市民のための事業を展開して参りたいと思います。

本年度の主な事業といたしましては、市制70周年を記念して行われる川崎市民マラソン大会、川崎サッカーフェスティバル、川崎ヘルシーウォーク等の記念事業の他に市民を対象にした各種のスポーツ教室やレクリエーション事業等を予定しております。

さらに、本年度から川崎市をホームとするプロサッカーチームのヴェルディ川崎の支援事業を行うことになりました。

今、若者に人気のあるサッカーを通して、市民のスポーツ振興に寄与することができるものと考えております。

これらの事業はどれひとつをとりましても、もちろん体育協会の皆様のご協力なくしては推進することはできません。

今までのご協力に感謝申し上げますと共に、今後ともスポーツ課に対する益々のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



国体準備室だより

川崎市国民体育大会
 準備室長 永井日出男



4年後に迫った国体、いま神奈川県下の市町村が県国体局を中心として、着実に諸準備を進めています。
 スポーツ川崎の紙面を拝借して、国体に関する情報を平成10年の開催時まで詳細にわたってお伝えします。
 今回は、最初の「国体準備室だより」となりますので、川崎市を中心とした国体の基本的な取り組みと、現在進めている準備の状況などについて記してみました。

国体準備室の移転について

準備室がスタートして、今年で3年目になりますが、準備室の陣容が充実してきたことから事務局が手狭になり、幸区の河原町団地内の河原町小学校の空き教室を利用して事務を執っています。

事務所 川崎市幸区河原町1番地
 第53回国民体育大会川崎市準備室
 準備室長 044(541)3858
 国体担当 044(555)0207
 総合アリーナ担当 044(541)3866

●“かながわ・ゆめ国体”開催に向けたスケジュール

	5年	6年	7年	8年	9年	10年
県	神奈川県準備委員会		神奈川県実行委員会			県実施本部設置
	53国体開催内定(イベント開催)		53国体開催決定(記念イベント開催)	53国体会期決定	53国体リハーサル大会	53国体夏・秋大会開催
	愛称・標語・シンボルマーク決定	マスコット決定	国体首領決定	イメージソング決定		
市			県民運動の推進			
				53国体炬火リレーコース決定		53国体炬火リレー実施
						スポーツ交流祭等の開催
町	スポーツ交流祭等イベント企画		スポーツ交流祭等イベント開催			
	各市町村準備委員会		各市町村実行委員会	実施計画等イベント開催準備		各市町村実施本部設置
			各市町村民運動の推進			
村						
				53国体市町村内炬火リレーコース決定		53国体市町村内炬火リレー実施

《川崎市で開催される競技種目》

- 夏期大会
 ◇ボウリング競技 川崎グランドボウル
- 秋期大会
 ◇テニス競技 富士見・等々力テニスコート
 成年男女
 ◇バスケットボール競技 川崎市体育館
 成年男女
 ◇ハンドボール競技 仮称川崎総合アリーナ
 少年男女
 ◇軟式野球競技 川崎球場・等々力球場
 成年男子一部
 ◇スポーツ芸術競技 市民ミュージアム
 公開競技

《専門委員会の設置》

公開競技を含めた6競技種目の運営を円滑に進めるために、次の通り専門委員会を設置し、それぞれ専門的な立場で、基本計画から具体的内容に至るまで検討・協議し諸準備を進めてまいります。

1. 総務専門委員会
2. 広報・市民運動専門委員会
3. 施設専門委員会
4. 輸送・交通専門委員会
5. 宿泊・衛生専門委員会
6. 競技・式典専門委員会



集中力を考える

順天堂大学スポーツ健康科学部
助教授 中島 宣行

今回は、スポーツにおける集中力について、考えて見ることにします。試合後のインタビューで、「素晴らしい集中力を発揮できた」、「他のことをいっさい考えずに、飛んでくる球だけに集中することを考えていたのがよかった」とか、敗戦後に「集中力が足りなかった」とか「集中力が切れてしまった」という話をよく耳にします。また、日常生活においても「もっと集中して勉強しろ」とか「本を読む時は集中することが大事だ」と言われることがあります。様々な場面で使われる集中力の内容はすべて同じでしょうか。静的な場面での集中力とスポーツのような動的な場面での必要な集中力は同じものでしょうか。また、ライフル射撃や弓道の時とサッカーやバスケットボールの時の集中力は同じでしょうか。このようなことを今回は考えてみることにします。

ナイデファーという人は、集中力を構成している要素を「注意の及ぶ幅」と「注意の方向性」の2つから考える必要があることを提唱しています。この考え方は、スポーツだけに限らず日常のあらゆる場面に適応することが可能であるので、アメリカでは、職業選択や適材配置を決定する際にも活用されています。

①注意の幅

面白い本を読んだり、好きな音楽を聴いている時は、お母さんが呼ぶ声も、焼き芋屋さんのスピーカーから流れる音も聞こえないことがあります。これは注意の幅が極端に狭くなった状態です。しかし、車を運転中、例えば、交差点で左折をしようとする直前には注意の幅を広くし、色々なものに気を配らなくてはなりません。即ち、右手はハンドルを持ち左の方へ回転させる準備に入り、右足をアクセルに軽く乗せ、左足はクラッチを思い

切り踏み込みながら左手はチェンジレバーを切り換え、それらの動作と同時に目は前方、側方、後方に忙しく動かし、耳も変わった音がしないかと注意を払わなければなりません。

スポーツの場面でも上に挙げたようなことが頻繁に起こります。フリースローを打とうとしているバスケットボールの選手は、バスケットのボールを入れることだけに注意を集中しなければなりません。同点で迎えた9回裏1アウト1、3塁の場面の守備でショートよりのゴロを処理しようとしているサードはサードランナーのリードの仕方、ファーストランナーの位置、セカンドの2塁へ入るタイミング、打ったバッターの足の速さに注意を向けながら捕球をし、送球をしなければいけません。このように、スポーツ場面で要求される注意集中の幅は狭一広さまざまです。

②注意の方向

注意の方向は瞬間的には、自分以外の人や物やそれらの動きに向いているか、自分の身体や心に向いているかのいずれかであると考えられます。即ち、注意の焦点が外に向いている時は、自分の身体や思考や感情のことなど考えていません。逆に注意の焦点が自分の内側に向いている時は、周囲に起こっている出来事から一瞬離れてしまいます。

③注意集中のタイプ分類

上述したように、ナイデファーは注意の幅(狭一広)と注意の方向性(外一内)という2つの次元を設定し、次ページのような4つの注意集中のタイプに分類しました。

A 幅の狭い外的な集中

非常に少ない手掛かりに対して反応しなければならぬ状況で、こんなタイプの注意が必要です。例えば、ゴルフ、ボウリング、ライフル射撃、弓道などで、このタイプに集中していると頭上を通過する貨物列車の爆音に気づかないことさえあるようです。このように、注意を狭くする能力により、観衆の喧騒や動き、スタンド最前列にいる観衆の声などに邪魔されずにプレーを遂行できるわけです。さらに、注意の焦点が外側に向いているということは自分の思考や感情、不安によって注意をそらされることがないことを意味しています。

B 幅の広い外的な集中

複雑で時々刻々変化する状況に対応するために必要な注意のタイプです。特に、開放的技能（オープンスキル；サッカーやラグビーやバスケットボールのように自分の出したパス一つによってすべてのプレーヤーの動きが決ったり、誰かがボールをインターセプトすることで、攻撃方向が逆になったり状況が目まぐるしく変化する中で、注意すべき情報に注意し、無視すべき情報を無視することが重要な技能）が多く含まれているスポーツに係わっている選手たちにとって大切な集中力のタイプです。

C 幅の広い内的な集中

物事をじっくり考えたり、様々なことについての考えをまとめあげるために必要な注意のタイプです。この能力は、監督やコーチにとって重要です。相手チームの戦力を分析し、適切に情報を収集することにより、自チームの作戦を考え、決定し、試合開始後の両チームの動きから次の状況を予測し作戦を変更することができる集中力です。しか

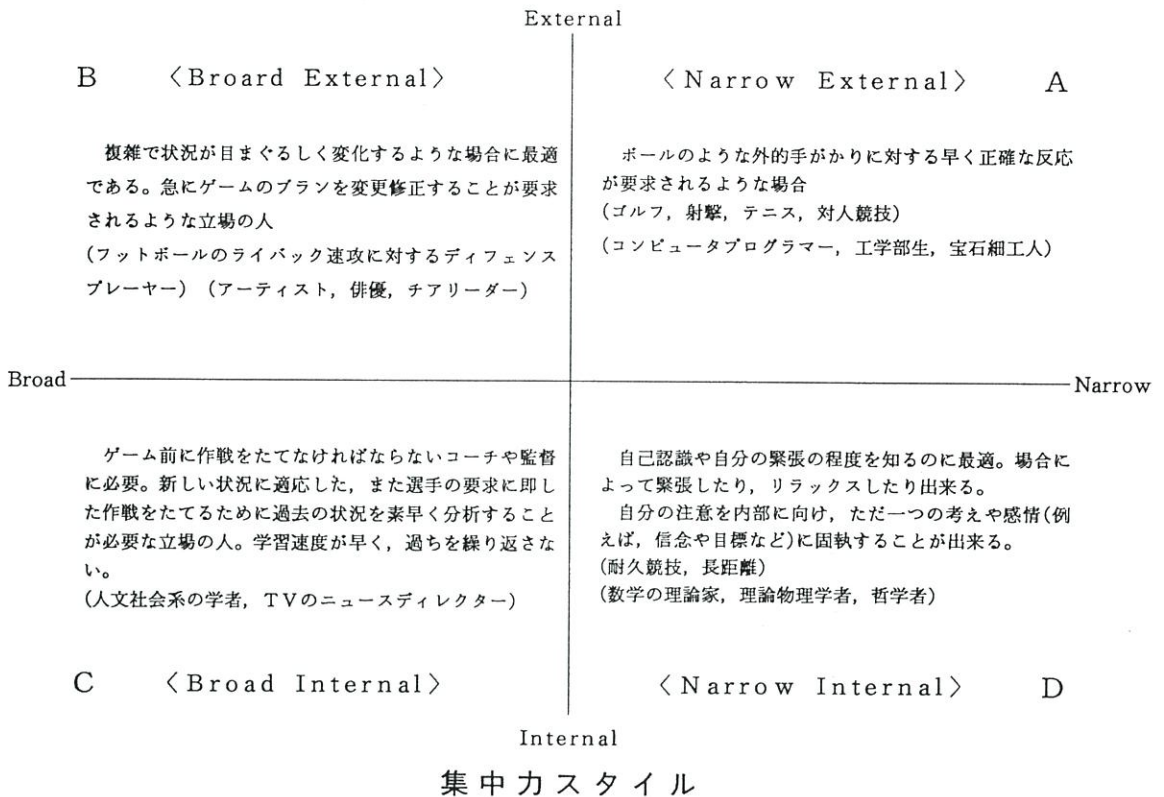
し、あまりにも自分の分析に没頭しすぎると周囲で起こっていることに気づかないこともあります。

D 幅の狭い内的な集中

このタイプは、自分の注意を内部に向け、ただ一つの考えや感情に固執することができます。この能力は、極度の力の発揮を必要とする耐久競技（投擲種目、ウエイトリフティング）長距離走、競泳などに役立ち、疲労や苦痛を忘れさせてくれ、自滅的な考えや態度に陥ることを防いでくれます。ただし、自己概念が低い場合には、失敗や敗北をした場合に無気力に陥る危険性もあるので、指導者は注意が必要です。

このように注意のタイプは4つに分類されますが、種目の特性や状況により必要とされる集中力のタイプは異なっていることと、その切換えをできるだけ速くしかも正確に行うことが大切です。

今回は選手の集中力のスタイルを測定し、その結果に基づいて効果的に発揮できていない集中力をどのように高めることができるのかという点に焦点をあててお話ししたいと思います。





秋季市民体育大会

平成5年度の秋を彩った市民体育大会の結果がまとまりましたのでご報告します。

事業名	期日	対象	会場	参加人数 又は チーム数
陸上競技大会	10月9日・10日	一般市民等	カサカサ陸上競技場	1,284人
野球大会	9月6日～17日	一般市民	市営大筒球場	16チーム
バレーボール大会	10月17日～11月3日	一般市民	市立川崎高校 他	152チーム
バスケットボール大会	11月20日～12月12日	一般市民	川崎市体育館 他	76チーム
卓球大会	11月6日・7日	一般市民	川崎市体育館	680人
テニス大会	10月30日～2月26日	一般市民	富士見庭球場 他	1,412人
バドミントン大会	12月12日	一般市民	川崎市体育館	142人
柔道大会	10月17日	一般市民	川崎市体育館	631人
剣道大会	11月23日	一般市民	東京松下体育館	283人
弓道大会	10月24日	一般市民	富士見弓道場	114人
相撲大会	10月10日	一般市民	富士見相撲場	74人
ラグビーフットボール大会	10月17日～1月27日	一般市民等	カサカササッカー場 他	18チーム
サッカー大会	7月10日～12月26日	一般市民等	カサカササッカー場 他	90チーム
体操大会	8月22日	一般市民	川崎市体育館	151人
合気道大会	10月10日	一般市民	石川記念武道館	66人
少林寺拳法大会	11月21日	一般市民	麻生スポーツセンター	145人
空手道大会	11月21日	一般市民	川崎市体育館	220人
ハンドボール大会	8月23日～11月11日	一般市民	市内各高等学校	63チーム
ソフトボール大会	7月11日～8月8日	一般市民	丸子市民広場	32チーム
スキー大会	2月20日	一般市民	会津たかつえスキー場	199名
卓球大会	2月26・27日	一般市民	川崎市体育館	140チーム
スケート大会	3月27日	一般市民	神奈川スケートリンク	3チーム

主な試合の成績は次の通りです。

テニス 5年10月30日～6年2月26日
参加 1,412名 会場 富士見庭球場他

- 一般男子シングルの部
 - 優勝 長田 裕治(日通工)
 - 2位 木村 篤(百合ヶ丘T.C)
 - 3位 島田 俊夫(東芝タンガロイ)、小西 順二(富士通)
- 一般女子シングルの部
 - 優勝 本田 真美(夢見ヶ崎L.T.C)
 - 2位 橋本 博子(夢見ヶ崎ローンテニスクラブ)
- 男子35才シングルの部
 - 優勝 斉藤 博道(夢見ヶ崎L.T.C)

- 2位 岩竹 範明(富士電機)
- 男子45才シングルの部
 - 優勝 佐藤 義樹(東芝小向)
 - 2位 田部 弘(東芝小向)
- 男子50才シングルの部
 - 優勝 早川 弘道(夢見ヶ崎L.T.C)
 - 2位 岡崎 憲二(三菱石油)
- 高校男子の部
 - 優勝 佐々木 淳(菅高校)
 - 2位 石川 慶(サレジオ)
 - 3位 森 猛(桐光)、坂本 竜一(法政二高)
- 高校女子の部
 - 優勝 木村扶美代(百合丘高校)
 - 2位 谷地田真希(カリタス)
 - 3位 古谷 咲子(麻生)、清水麻衣子(麻生)

相撲 5年10月10日
参加74名 会場 富士見相撲場

- 高校生の部
 - 優勝 岩下雄一郎(県立向の岡工)
 - 2位 嶋田 康順(//)
 - 3位 立山健太郎(//)
- 中学生1年生の部
 - 優勝 翁長 元(京町中)
 - 2位 岡本 登光(西中原中)
 - 3位 西川智哉(富士見中)、早坂洋史(大師中)
- 中学生2年生の部
 - 優勝 袴田 達志(西中原中)
 - 2位 和井井 純(富士見中)
 - 3位 小島朋陽(大師中)、熊谷 悟(大師中)
- 中学生3年生の部
 - 優勝 吾妻裕次郎(西中原中)
 - 2位 藪田 浩(西中原中)
 - 3位 堀江貴弘(富士見中)、小宮義実(京町中)



バレーボール

5年10月17日 参加152チーム
会場 市立川崎高他

- ・高校男女6人制の部
男子優勝 橘高校A、2位 桐光B
女子優勝 橘高校B、2位 橘高校A
- ・一般6人制の部
男子優勝 富士通A、2位 富士通B
女子優勝 SHUHARI、2位 川崎プライデーズ
- ・一般9人制男子の部
1部優勝 東芝玉川、2位 NEC玉川
- ・同2部優勝
- ・一般9人制女子の部
優勝 ミリダ、2位 北斗クラブ

空手道

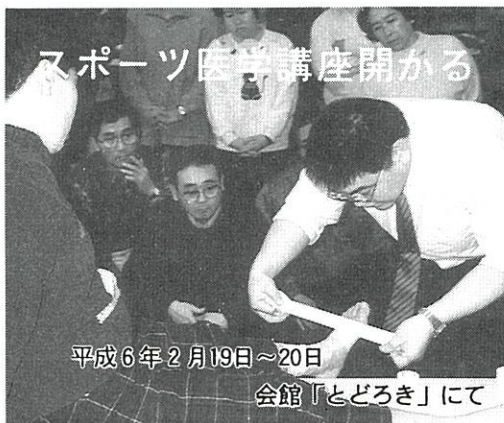
第22回川崎市空手道選手権大会
5年11月21日 会場 川崎市体育館



- ・組手の部 団体戦
優勝 総合科学高校Aチーム
2位 法政二高Aチーム
3位 拳心会森道場 3位 幸武館
- ・組手の部 有段者個人戦
優勝 河原 康敏（法政二高）
2位 金子浩一郎（川崎商業）
3位 深町 重夫（幸武館）
3位 重田 浩志（法政二高）
- ・組手の部 無段者個人戦
優勝 萩尾比呂也（川崎商業）
2位 志村 朋晃（麻生高校）
3位 掛田 智哉（麻生高校）
3位 加藤 裕介（法政二高）
- ・組手の部 女子個人戦
優勝 四野見佳世子（川崎商業）
2位 佐藤美世子（川崎商業）
3位 佐藤 佳代（川崎商業）

3位 小木曾アヤ（麻生高校）

- ・型の部 有段者個人戦
優勝 河原 康敏（法政二高）
2位 須賀 正一（飯田道場）
3位 深町 重夫（幸武館）
- ・型の部 無段者個人戦
優勝 大高 康弘（玉川松濤館）
2位 掛田 智哉（麻生高校）
3位 荒井 芳弘（飯田道場）
- ・少年少女団体戦
優勝 如水会川崎A
久保 将史・高梨 翔・伊藤 未佳
2位 飯田道場A
八木下 治・森野 良史・森野 秀昭
3位 森道場A
久米 正晃・長谷 義仁・川俣 綾
3位 正道会
中嶋 円・中嶋 雅・村越 幸郎



神奈川県教委及び県体協主催による平成5年度スポーツ医学講座が川崎で開かれました。

2月19日は15時～17時まで、20日は9時30分～16時30分にかけて行われたこの講座、今回のテーマは「運動生理学からみた効果的トレーニングについて」（聖マリアンナ医大第二生理学教室主任教授＝吉岡利忠先生）、「スポーツ障害の慢性期と急性期について」（同医大整形外科教室＝清水邦明先生）、「スポーツリハビリテーションの理論と実際について」（同医大横浜西部病院リハビリテーション部＝武田秀和先生）の3つでした。集まった68名の受講生達は熱心な講義に深い感銘を受けました。

川崎市スポーツ少年団柔道交流大会



麻生スポーツセンターにて H16.1.30

ただいま賛助会員募集中!

当協会では来る21世紀を目前に、スポーツのもつ深い意義をふまえ、市民の皆様方が日常生活の中で自主的・自発的・継続的にスポーツ活動が実践できるよう、市民総スポーツ・生涯スポーツをスローガンにかかげ、市民各層にスポーツ活動に参加する機会を広げるよう努力しております。

地域・職場でのスポーツ指導者の育成と充実、気軽に参加できる各種スポーツ教室の開催等、健康で明るい市民生活が営めるような様々な事業をより充実した内容で展開できるよう、あなたの力を借りる賛助会員制度を設けております。

賛助会員提携店のご案内

次のスポーツ店に賛助会員に対しての優遇・協力をいただいています。ご利用ください。なお、その際は賛助会員証をご提示ください。

- (有)トモエスポーツ
川崎区小川町2-2 ☎222-3357
 - (株)三愛スポーツ
川崎区小田3-16-8 ☎333-6211
 - 三陽スポーツ
川崎区池田1-14-4 ☎222-5803
 - (株)カワブチスポーツ
幸区下平間214 ☎511-1615
 - (有)アイダスポーツ
中原区田尻町11 ☎533-8411
 - (有)フジスポーツ
中原区小杉1-403 ☎711-0505
 - 石井運動具店
中原区今井西町240 ☎733-1024
 - (有)三井スポーツ
中原区上新城2-8 ☎766-1753
 - (株)グリーンスポーツ
宮前区鷺沼3-1-17 ☎854-3311
 - (株)ミキスポーツ
多摩区堰3-10-1 ☎822-8885
- (以上いずれも川崎市運動具商組合加盟店です。)

編集後記 「神奈川・ゆめ国体」も4年後に迫って、いよいよ準備も本格化して来た。等々力の川崎総合アリーナ(仮称)の建築も急ピッチ。その落成後は市体育館も大改築の予定とか。わが広報委員会の役割も増えてこようというもの。精一杯頑張らましょ。 (左澤・皆川・谷口ほか一同)

さまざまなお特典

あなたが賛助会員になられますと、次に掲げるような様々な特典が受けられます。

まず会員証が交付されますが、この会員証を提示しますと、左に掲げられている提携スポーツ店で、用品の割引優遇が受けられます。当協会の広報紙「スポーツかわさき」の無料送付も受けられますし、また本協会及び加盟団体主催の行事等の案内及び入場券の優遇あっせんや、指導者の派遣、相談等を受けることができるのも大きな魅力です。

賛助会員となるための会費は、個人年額1口が2,000円で1口以上。団体会員は年額1口10,000円として1口以上です。申込みは下記の事務局で受け付けています。どうぞ奮ってご協力くださるようお願いいたします。

スポーツかわさき第36号

平成6年6月25日

— 発行 —

(財)川崎市体育協会 (電話 044-556-5511)

〒210 川崎市幸区戸手本町1-11-3

川崎市幸スポーツセンター内

編集 広報委員会

印刷 (株)第一サンエー(電話222-2356)

〒210 川崎市川崎区榎町3-9